



星の欠片と鯨
Fragments d'étoiles
et une baleine

善養寺ススム
Zenyoji Susumu





君が涙を流すたび、
星の欠片が海にこぼれる。

泣くのはおやめ。

星は欠けて、やがて無くなってしまふから。



一頭の鯨が

静かで真っ暗な水面で、

深い、深いため息をつく。

大丈夫。

僕が拾ってきてあげましょう。

鯨のため息は、
水煙になって夜空に舞う。



03

鯨は欠片を探しに行く。

深い、深い海の底へ。

海はそれを邪魔しないだろう。

しかし、ゆっくりと海は鯨を締め付ける。

やがてそれは鯨を押しつぶすだろう。

広くて暗い海の底で。



冷たく寂しい海の底で、
鯨は欠片を見つけられるだろうか？

大丈夫、鯨はとっても目がいい。

その僅かな輝きを、

鯨は遠くからでも見つけられるから。



05

鯨は欠片を見つけると、

クルリと身を翻して海面へと向かう。

深い深い海の底から宇宙の入り口へ。



鯨は水面に顔を出すと、大きく深くため息をつく。

鯨のため息は、水煙になって夜空に舞う。

星の欠片も空に舞う。

大丈夫、心は少しずつ癒えるから。

鯨はきっと最後のひと欠片まで探すだろう。

鯨はいつか疲れ果てて死んでしまうかもしれない。
それでも、欠片を探すだろう。

だから、悲しんだ後には、

笑ってあげて。

もう、大丈夫だからと、笑っあげて。



07

君が涙を流すたび、

静かで真っ暗な海の真ん中で、

鯨が

深い、深いため息をつく。

終

Fin